事例No.	278
公表年度	H28
団体の属性	一般市
団体名	長崎県松浦市

事例区分	公営企業

タグ	・交通事業 ・組織改革 ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	民間活用

事例内容・タイトル

「鷹島地区における持続可能な陸上交通体系の構築」（市営バス廃止・デマンド型乗合タクシー運行）

出典

地方公営企業の抜本的な改革等に係る先進・優良事例集

○ 事例名等

事例名	鷹島地区における持続可能な陸上交通体系の構築
団体名	長崎県松浦市
事業名（事業区分）	交通事業（バス事業）

○団体及び事業の概要

行政区域内人口（人）	23,757（平成28年12月1日現在）	行政区域内面積（㎢）	130.6
事業開始年月日	昭和38年7月12日	営業路線（km）	36.5
年間走行距離（km）	4,244.0	年間輸送人員（人）	915
在籍車両数（両・台）	4	職員数（人）	2

※平成27年3月31日事業廃止（平成26年度は4月のみ運行）

1．取組の背景、検討を開始した契機・導入過程

(1)取組の背景

松浦市鷹島町（離島）において、島民の移動手段を確保するため、島内唯一の公共交通機関として市営バスを運行していた。島外へ移動する際には、定期船等を利用する必要があったが、平成21年4月18日に松浦市鷹島町と佐賀県唐津市を結ぶ「鷹島肥前大橋」が開通したことににより、島民がマイカーで島外に移動しやすくなり、鷹島町の交通事情が大きく変化した。

架橋の影響により、市営バスの利用者は大幅に減少、また利用者の減少に伴い経営状態は一層厳しくなった。

(2)検討を開始した契機・導入過程

平成21年　2月26日　第1回松浦市地域公共交通活性化協議会を設立
・公共交通事業者、地域住民代表、行政機関等で委員を構成
・松浦市長が協議会会長に就任
・鷹島肥前大橋の開通に伴い、利便性の高い持続可能な公共交通体系を構築するため、地域公共交通活性化・再生総合事業を活用して「松浦市地域公共交通総合連携計画」を策定することを決定

平成21年　4月18日　鷹島肥前大橋の供用開始

平成21年　6月22日　第2回松浦市地域公共交通活性化協議会を開催
・松浦市地域公共交通総合連携計画素案策定に係る委託業者の選定等について協議

平成21年　8月10日　第3回松浦市地域公共交通活性化協議会を開催
・松浦市地域公共交通総合連携計画素案策定業務委託業者の選定について報告
・地域公共交通に関するアンケートについて報告

平成21年10月14日　第4回松浦市地域公共交通活性化協議会を開催
・松浦市の公共交通の現状について報告
・計画策定について協議

平成21年12月24日　第5回松浦市地域公共交通活性化協議会を開催
・松浦市地域公共交通総合連携計画（素案）の検討

平成22年　3月12日　第6回松浦市地域公共交通活性化協議会を開催
松浦市地域公共交通総合連携計画を策定（公表：3月23日）
【事業概要：鷹島地域の陸上交通体系】
①既存ルート・ダイヤの見直しと定期航路との接続強化
②新交通システムの導入
※事業概要の一覧は、別紙のとおり。

平成23年　3月25日　平成22年度第2回松浦市地域公共交通活性化協議会を開催
・鷹島地域における新交通システム構築のためのデマンド型乗合タクシー等の実証運行を実施することを決定

平成23年　7月12日　平成23年度第1回松浦市地域公共交通活性化協議会を開催
・鷹島地域陸上交通については、デマンド型乗合タクシーの実証運行を行う予定であったが、地元の意見など事業を精査していく中で課題も多かったため、今回は実証運行を行わず、鷹島地域の陸上交通についてどのような方法が良いのか、再度協議会の中で検討していくことを決定

平成24年　3月	第2次松浦市行政改革実施計画を策定 市営バスの民営化及びデマンド型乗合タクシーの導入を検討することとなる。
平成24年　3月22日	平成23年度第3回松浦市地域公共交通活性化協議会を開催 ・平成24年度の事業として、市営バスの民営化を含めた鷹島地域の陸上交通のあり方の検討を協議していくことを決定
平成25年　3月26日	平成24年度第1回松浦市地域公共交通活性化協議会を開催 ・平成25年度に鷹島地域の陸上交通のあり方を市営バスの民営化を含めて、鷹島地区陸上交通対策分科会を設置して協議、検討していくことを決定
平成25年　9月24日	平成25年度第1回松浦市地域公共交通活性化協議会を開催 ・公共交通事業者、地域住民代表、行政機関等で構成する鷹島地区陸上交通対策分科会を設置することを決定
平成25年11月27日	平成25年度第1回鷹島地区陸上交通対策分科会を開催 る入野～鷹島支所間を延長し、入野～阿翁浦間とすること、また、デマンド型乗合タクシーを導入し、市営バスを平成26年度末をもって廃止する方針が決定
平成26年　2月　3日	平成25年度第2回鷹島地区陸上交通対策分科会を開催 ・デマンド型乗合タクシーの公募をすることを決定
平成26年　2月17日	平成25年度第3回鷹島地区陸上交通対策分科会を開催 ・4月1日から路線バスの延長、デマンド型乗合タクシーの実証実験、市営バスの4路線を休止することが決定
平成26年　3月18日	鷹島地区乗合タクシー運行事業者選定委員会を開催
平成26年　3月18日	平成25年度第4回鷹島地区陸上交通対策分科会を開催 ・デマンド型乗合タクシーの選定結果の報告 ・4月1日から路線バスの路線延長をすることを決定 ・5月1日からデマンド型乗合タクシーの実証実験を開始することを決定 ・5月1日から市営バスの全路線を休止することを決定

2. 取組の具体的内容とねらい、効果

(1)取組の具体的内容とねらい

市営バスを廃止し、鷹島地区の陸上交通を民営化するため、以下の取組みを行った。

平成26年　4月　1日	民間バス事業者の路線を延長し、市営バスを運行していた4路線(阿翁浦線、阿翁循環線、開発センター循環線、モンゴル村線)を休止
平成26年　5月　1日	鷹島地区においてデマンド型乗合タクシーの実証実験を開始
平成26年　5月　1日	市営バスの全路線を休止
平成26年10月　1日	デマンド型乗合タクシーの本格運行を開始(鷹島地区陸上交通の国庫補助認定)
平成27年　3月31日	市営バスを廃止

(2)効果

・市営バスは幹線の運行であったが、デマンド型乗合タクシーの導入により、鷹島地区全域をカバーできるようになり、利用者の利便性が向上した。
・松浦市の財政負担の軽減(約2,500万円／年)
・保有資産(バス4台)の売却及び譲渡による有効活用
・公営企業会計の職員2名(運転手)を一般事務及び図書館車の運転手として配置転換したことにより、一般会計職員の不足分を補充することができた。

3. 他の自治体の参考となる点、今後の課題等

(1)他の自治体の参考となると考えられる点

架橋によって鷹島地区の交通事情が大きく変化する中、利便性が高く持続可能な交通体系を構築するため、交通事業者、地域住民代表、行政機関等で構成する地域公共交通活性化協議会や分科会を設立し、地域住民を巻き込みながら議論を重ねたことによって、市営バスの廃止及び鷹島地区の陸上交通の民営化を実現できた。

(2)今後の課題等

平成26年5月1日から導入したデマンド型乗合タクシーの利用者の増加を図るため、利用促進に向けた定期的な情報発信を行う必要がある。

○問合せ先

担当課	松浦市企業立地課		
TEL	0956-72-1111	MAIL	kigyou@city.matsuura.lg.jp

◆事業概要と実施主体

基本方針	目標	個別事業	実施スケジュール				主な実施主体				
			H22年度	H23年度	H24年度	H25、26年度	船舶A社	船舶B社	民間バス事業者	鉄道C社	市
効率的で利便性の高い「海上交通体系」の構築	目標1－1 殿ノ浦―今福航路の効率化と利便性の向上	①19t小型フェリー導入による効率化と利便性の向上	計画・実験	建造	実施		●				
		②19t小型フェリー導入に対応した着岸施設の整備	調査	実施							●
		③持続可能で効率的な経営体制の構築	実施	（継続）	（継続）	（継続）	●				
		④市民ニーズに応じた運航時間の短縮と増便		計画・実験	実施		●				
		⑤定期航路空時間を活用した観光事業の実施と旅行商品の造成			実験	実施	●				
		⑥港・待合所などの交通結節点の機能強化		調査・研究	実施		●				●
		⑦料金体系の見直しと多様なサービス商品の導入による利用者の確保	実験	実施			●	●	●	●	●
		⑧他公共交通機関との乗り継ぎ利便性の向上	実施				●	●	●	●	●
		⑨総合的な情報発信の強化	準備	実施							●
	目標1－2 阿翁―御厨航路の効率化と利便性の向上	①黒島・青島単独航路としての再編と利便性の向上		設計・建造	実施						●
		②持続可能で効率的な経営体制の構築	実施	（継続）	（継続）	（継続）	●				
		③港・待合所などの交通結節点の機能強化		調査	実施		●				●
		④他公共交通機関と連携した旅行商品の造成	実施				●				
		⑤多様なサービス商品の導入による利用者の確保	実験	評価・改善・実施			●	●	●	●	●
		⑥他公共交通機関との乗り継ぎ利便性の向上	実施				●	●	●	●	●
		⑦総合的な情報発信の強化	準備	実施							●
	目標1－3 福島―浦之崎航路効率化と利便性の向上	①低需要時間帯における適正なダイヤ編成	実験	実施				●			
		②多様なサービス商品の導入による利用者の確保	実験	評価・改善・実施			●	●	●	●	●
		③他公共交通機関との乗り継ぎ利便性の向上	実施				●	●	●	●	●
		④総合的な情報発信の強化（再掲）	準備	実施							●
効率的で利便性の高い「陸上交通体系」の構築	目標2－1 鷹島地域の陸上交通体系の効率化と利便性の向上	①既存ルート・ダイヤの見直しと定期航路との接続強化	一部実施	実施					●		●
		②新交通システムの導入		実証運行	実施						●
		③多様なサービス商品の導入による利用者の確保	実験	評価・改善・実施			●	●	●	●	●
		④総合的な情報発信の強化	準備	実施							●
	目標2－2 松浦地域・福島地域の陸上交通体系の効率化と利便性の向上（乗合バス、民間バス、松浦鉄道）	①低需要路線の効率化		実験	実施				●		●
		②駅やターミナルなどの交通結節点の機能強化		調査	実施				●	●	●
		③公共交通機関等の相互連携による旅行商品の造成	調査	実施			●	●	●	●	●
		④多様なサービス商品の導入による利用者の確保	実験	実施			●	●	●	●	●
		⑤他公共交通機関との乗り継ぎ利便性の向上	実施				●	●	●	●	●
		⑥総合的な情報発信の強化	準備	実施							●